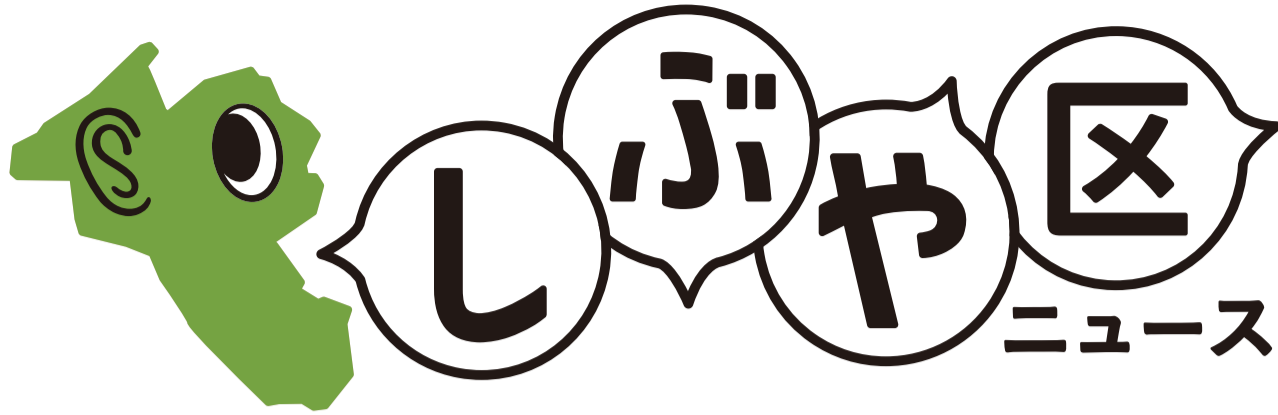


8月2日、渋谷区子育てネウボラの拠点施設がオープン！

令和3年
(2021年) 8月1日

No.1469



発行 | 渋谷区
編集 | 広報コミュニケーション課
所在地 | 〒150-8010 宇田川町1-1
電話 | 03-3463-1211 (代表)


@city_shibuya


@shibuya.city


@city_shibuya_official


@shibuyacity

区SNSは
こちら



渋谷区子育てネウボラアンバサダー 若槻千夏さん

※インタビュー時は、マスクを着用、換気、社会的距離の確保を徹底し、感染対策を行いました。撮影時のみ、マスクを外して撮影しました。

「coしぶや」で語る、渋谷区の子育てサポート。

2 | 街と人がつながる場所で、
3 | 喜びのある子育てを支える。

4 | 「渋谷区子育てネウボラ」が
7 | 8月2日(月)にオープンします。ほか

8 | 東京2020
11 | パラリンピック特集 ほか

12 | 新型コロナワクチンに
16 | 関するお知らせ ほか

不要不急の外出自粛と感染防止対策の徹底をお願いします。

掲載情報は新型コロナウイルス感染症の影響により、変更となる場合があります。

街と人がつながる場所で、

渋谷のラジオで
出張インタビュー

8月2日にオープンする「coしぶや」に、渋谷区子育てネウボラアンバサ



渋谷区長
はせべけん
長谷部 健

区民の皆さんに
ご提案いただきながら、
一緒に盛り上げて
いきたいです。

タレント・渋谷区子育てネウボラアンバサダー
わかづき ちなつ
若槻千夏さん

区の子育て支援や
施設の魅力を、
もっと皆さんに
お伝えしていきたいです。

「coしぶや(渋谷区神南ネウボラ子育て支援センター)」をご覧になって、いかがでしたか。

若槻: 新しくて、すごくきれいですね！居心地のいい場所だと率直に感じました。温かみのある木で作られた机や遊具は、子どもがぶつかってもけがをしないように丸みを帯びていて、安全性に配慮されていますね。正面のエントランスは大階段になっていて中の様子がよく見えるから、初めて来る人も入りやすいと思います。

長谷部: 「ネウボラ」とは、もともとフィンランドで始まった子育て支援なんです。フィンランド語で「ネウボ」が相談、「ラ」が場所を意味しています。つまり、ここは「相談の場所」なんですね。実際に僕が子育て支援の視察をするためにフィンランドを訪れた時、最新のネウボラ施設は単なる相談の場所じゃなくて、商業施設や遊ぶ場所が交ざっているオープンスペースだったんです。こういうスペースの使い方がすごくすてきだなと思ひまして。ここを参考にして、渋谷区ならではの子育て支援施設をつくりたいと考えました。北欧では建物や家具などをつくる時に木を上手に使うので、この施設でも木にこだわりました。渋谷駅のシンボル・忠犬ハチ公のふるさどである秋田県大館市は、秋田杉の主要な産地。だからこの施設は、秋田杉をふんだんに使っているんですよ。

若槻: この木の温かみに触れると落ち着きますね。子育てに不安なことがあって区に相談しようと思っても、行きづらく感じてしまう人は多いと思います。でも、ここは「行ってみようかな」と施設自体が思わせてくれるというか、ウエルカムな感じがしますね。

長谷部: そう言ってもらえて本当にうれしいです。若槻さんも今、9歳と4歳のお子さんがいっぱいいますが、その視点から考えてもここを使ってみたいと思いますか。

若槻: 使ってみたいです。先ほど館内を見学させていただきましたが、赤ちゃんや小さな子どもたちが遊べるだけでなく、小学生の子どもたちも楽しめる場所になるといいなと思いました。小学校に上がると、友達と出掛ける機会が増えるから、親としてはちょっと

心配なんですよね。高学年になると自転車で渋谷の街に行く子が多いんですが、やっぱり大人が入るようなお店も多いですから、なかなか子どもが行く場所がなくて。ここが、小学生でも放課後に気軽に立ち寄れる場所になったらいいなと思いますね。

渋谷区での子育てについて、どのように感じられていますか。

若槻: 独身時代は正直、「渋谷で子育てなんてできるの？」と思っていました。でも実際に住んでみると、施設や区のサポートがすごく充実しているんですよ。ネウボラのような子育て支援も、他の区に先駆けて取り組まれています。私自身、安心して子育てをしています。このような環境で育った子どもたちも、渋谷区は東京の中心であるにもかかわらず住みやすい場所だと理解してくれるような気がしますね。

長谷部: 僕は渋谷区で生まれ育ってもうすぐ50年になります。昔、区外の学校の友達に「原宿中学校に通っているんだ」と話すと、「いいな、いいな」とよく言われたんですよ。こうして街で育まれるシティプライドと共に、都心ならではの良さを生かしながら、親子で一緒に遊べる場所を追求していきたいんです。カフェや大型遊具がある2階も、今後は一般に向けて貸し出すことを考えています。幼稚園や保育園、小学校などの保護者会は、なかなか子どもと一緒に開催できる場所がありませんから、そういった用途にも開放したいですね。

若槻: 小さい子がいると、貸し切りでお店を使えたとしても、子どもたちはすぐに飽きて遊び始めてしまって、親たちは親睦会に集中できなくなってしまふんです。だんだん騒ぎ声が大きくなってくると、お店にもご迷惑をかけてしまって申し訳ない気持ちになります。区長のおっしゃるように、保護者会などの場所選びは本当に大変です。その点、ここは広いし安全ですから、貸し出しはすごく反響があると思いますね。

長谷部: ぜひ、ここの貸し出しを活性化させたいです。白い壁に映像を映すこともできますし、いろいろなことができる可能性があると思ひ

渋谷区の番組を放送中です

ラジオしぶや区ニュース

月～木 11:00/16:00/21:50 (10分間)
「しぶや区ニュース」の情報を発信します。

渋谷いきいき倶楽部

月～金 13:00/16:30 (30分間)
シニアの皆さんを応援する番組です。

渋谷の星

火 11:15 (45分間)
渋谷区で活躍する人たちが登場します。

渋谷のくらし

金 16:00 (30分間)
地域の催しなどの様子を伝えます。

ラジオしぶや区ニュース(区長の部屋ほか)

金 11:00/17:00/19:50 (10分間)
長谷部区長が出演します。
(ラジオしぶや区ニュースの内容になる場合あり)

喜びのある子育てを支える。

ダーの若槻千夏さんをお迎えし、地域みんなで支え合う子育てについて語り合いました。

ます。ネウボラは相談の場所とお話ししましたが、相談だけでなく、みんなが集まったり、話し合ったり、新しい友達ができたりする場所としても機能してほしいと思っています。

若槻: 私は1人目の子どもを出産した時はママ友がいなかったのですが、本やSNSで育児の情報を集めていました。でも、やっぱり誰かに聞くのが一番安心できるんですね。本当は誰かの声が欲しかったんです。このように保健師*さんや、出産を経験されている人にいつでも相談できる場所があったら、安心して子育てができるだろうなと思いますね。1人で育児の悩みを抱えている人は、本当に多いと思いますから。

長谷部: ありがとうございます。ぜひ、いろいろなご提案をいただきながら、一緒にここを盛り上げていきたいと思っています。

*妊娠中から出産、子育て期の相談窓口として専門的な知識や経験を基に、子育てをサポート。また、あらゆる世代の身体や健康相談も受けている。

「地域みんなで子どもを育てる」がネウボラのコンセプトの一つですが、地域で子育てをするためにはどんなことが必要だと思いますか。

若槻: 子どもが小学生になるといろいろな行事やイベントがありますから、親御さんたちが集まって意見交換することが増えるんです。ここで一番大切なのは、自分の意見が全てじゃなくて、世の中にはいろいろな意見があることを知っておくことです。たとえば新型コロナウイルスの感染が広がった時、土日に校庭開放するかどうかさまざまな意見が出ました。そういう時は、自分の意見が絶対に正しいと思わずに周りの意見を尊重しながら、皆さんの子どもも自分の子どものように考えることが大切だと思います。

長谷部: 素晴らしいですね。渋谷区は、「ちがいを ちからに 変える街。」を目指すべき未来像として掲げています。人種や性別、年齢、障がいなどといった人々の多様性を受け入れるには、お互いを認め合わなければなりません。自分が好きなことばかりしては、調和が取れないのです。まずは、自分とは違う人がいることを理解する。ここが基本だと思うんですね。若槻さんがまさにそういうことをおっしゃっていて、渋谷の理想とする「ちがいを ちからに」を体感されているなど心強く思いました。

渋谷区内で、子育て世代におすすめの場所がありますか。

若槻: 最近、子どもがよく行くのは「代官山ティーンズ・クリエイティブ」です。毎回、さまざまな分野のクリエイターさんが講師として来てくれて、書道やダンス、インタラクティブアートなどを一緒に体験できるんです。講師の皆さんは第一線で活躍されている人ばかりで、渋谷ならではの場所だと思いますね。

長谷部: 「はるのおがわプレーパーク」もおすすめです。実は、僕が区議になって最初につくらせていただいた場所なんですよ。子どもの遊び場はだんだん規制が増えてきて、水遊びもキャッチボールも木登りもできなくなってきましたよね。けがをしたら困るという理由で、逆に子どもたちが失敗から学ぶ機会が減ってしまった。そこで「自分の責任で自由に遊べる公園をつくりませんか」と区に提案したんです。ぜひ遊びに行ってみてください。

区で子育てをされている皆さんや、区民の皆さんに向けてメッセージをお願いします。

若槻: 私自身17歳から渋谷区に住んでいますが、正直なところ、区にどんな施設や支援があるのか、よく知りませんでした。でも、仕事で関わるようになってようやくさまざまな施設があることを知り、これが多くの人に伝わらないのはもったいないと心底感じています。渋谷は遊びに行く場所という印象をお持ちの人が多いと思いますが、実はすごく住みやすい環境でもあることを、アンバサダーとして伝えていきたいです。



▲ 2階に設置される大型遊具。子どもが思わず遊びたくなる仕掛けがいっぱい

3階は子育てひろば。乳幼児が広々とした空間で遊べる



こしぶや

(渋谷区神南ネウボラ子育て支援センター)

区民が不安なく少しでも喜びの多い子育てができるよう、妊娠期から18歳になるまでの全ての子どもとその家族へ、区が途切れなくサポートを行う仕組み「渋谷区子育てネウボラ」。令和3年8月2日にオープンする拠点施設の2・3階に「こしぶや」が開設されます。「出会う、集う、語る、つながる。地域みんなで子どもを育てる」という区のコンセプトに沿って、子どもたちが自由に創作活動を行うアトリエや、乳児から木の香りに包まれて遊べる子育てひろば、多世代が緩やかにつながるコミュニティカフェなどがあります。子育て相談や親子同士の交流の場、地域や区の子育て支援情報などを提供していきます。

*施設について詳しくは4ページ以降でも紹介しています。

渋谷区ネウボラ HP (8月2日より公開) ▶



若槻千夏さん

1984年生まれ。17歳の時に渋谷109でスカウトされ芸能界入り。バラエティー向けのキャラクターが支持を受けTVをはじめさまざまなメディアで活躍。2012年に結婚し、現在2児の母。2019年にはハイカジュアルなアパレルブランド「WCJ」をスタートし、アパレルデザイナーとしても活躍中。同年、渋谷区より子育てネウボラアンバサダーを委嘱されると同時に、渋谷の未来をつくるプロジェクトを担う一般社団法人渋谷未来デザインにて、フューチャーデザイナーとして渋谷のまちづくりプロジェクトにも参加するなど、幅広い活動を行なっている。



若槻千夏さんと長谷部区長の対談は8月3・10日に「渋谷の星」で放送します。



バックナンバーはこちら



問 広報コミュニケーション課広報係 ☎3463-1287 ☎5458-4920



「しぶや区ニュース」では毎号、「渋谷のラジオ」と連動したページを掲載。「しぶや区ニュース」と「渋谷のラジオ」が連携して、人と人のつながりが広がる紙面を届けています。



周波数:

87.6MHz FM ☆公式アプリでも聴取可能



所在地 | 渋谷3-22-11 サンクスプライムビル1階 TEL | 6712-6876

FAX | 5778-9620 E-MAIL | info@shiburadi.com HP | shiburadi.com/